

青水

原因

銅配管から銅イオンが溶出することで発生する現象。

対策

配管を引き換える。
朝一番に使用する時等、長時間使用しなかった時は、使い始めの水に銅が多く含まれている恐れがあるので、約1分間位流した後に使用する。

安全性

銅は人に必要な成分の一つで、食物などによって1日に摂取する量が2～5mgといわれている。水質基準値は1.0mg/l以下となっているが、これは味が悪くなるとか、青色現象を起こしやすいといったことから決められている。銅自身には、ほとんど毒性がないが、あるいは極めて小さいといわれている。

白水

原因

白水の場合でも、蛇口から出る水をコップなどに入れ、しばらく置いておくと透明の水になる場合は、水道水中に空気が溶け込んだだけの現象なので全く心配ないが、放置しておいても白濁したままであれば、亜鉛の溶出が考えられる。

給水・給湯管として使われている亜鉛めっき鋼管から、亜鉛が溶け出し(腐食)、水が白濁した状態である。

対策

空気が溶け込んだだけであれば問題なし。
亜鉛が溶け出しているのであれば、早急に配管を引き換える。

赤水

原因

主な原因としては水道配管(鉄管)のサビが考えらる。しばらく水道の蛇口を使っていなかったときや、断水のあとなどに赤水が出ることが多いが、最初の水を多少流してあげればいつもの水に戻る。ただ、この場合配管の腐食が始まっているので、対応を考えておいた方がよい。

対策

コップに水を取って明らかに赤いときは、飲用を避ける。赤水が出るときは、しばらく放流後きれいになってから飲用する。

安全性

衛生上の有毒性よりも洗濯の時衣類を赤くする、お茶の味を悪くするという観点から基準値を定めている。

黒水

原因

普通、井戸水などで多く見受けられ、浴室タイル目地が黒っぽく変色することがある。これはマンガンを多く含むことにより、黒く変色する水道水質の異常。

対策

井戸から水道に引き換える。
除マンガン装置を取り付ける。